

カヤバ NEWS

レガシーシステム刷新による運用効率化と品質向上

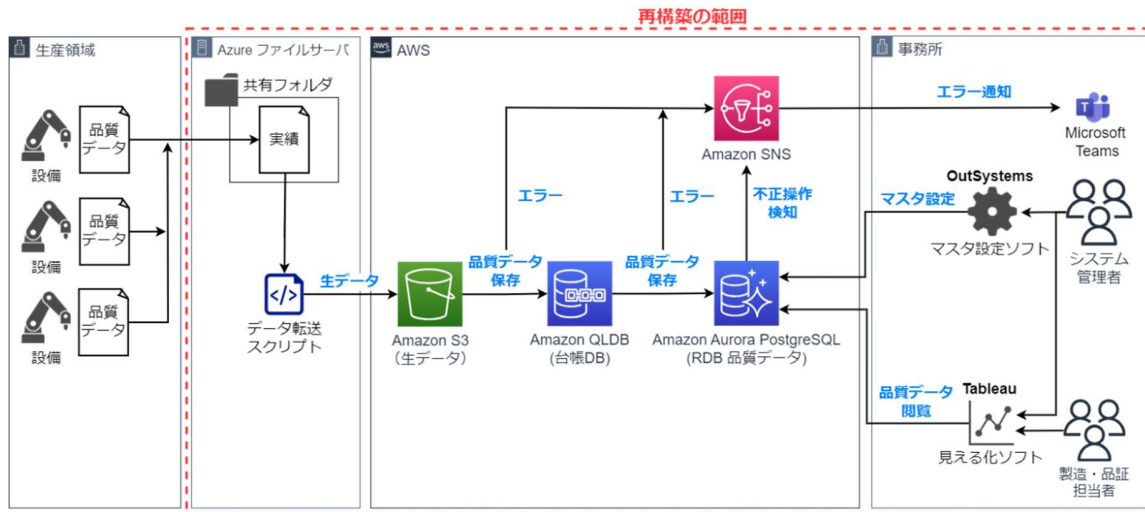
当社は、2002年から稼働している品質データ管理システムを刷新し、次世代のシステムとして再構築しました。この取り組みは、DX推進の一環として、運用保守や機能改良が困難なレガシーシステム^(※)からの脱却を目指しています。

※過去の技術や仕組みで構築されている古いシステム

次世代システムはAWS (Amazon Web Services) とローコード開発ツールを活用し、以下の成果を実現する見込みです。

- ・運用管理工数の50%低減
- ・運用コストの60%低減
- ・システムの耐障害性・耐災害性の向上
- ・改ざん防止機能の強化

現在、国内2拠点で導入されており、運用工数の低減や品質管理機能の強化が見られます。2026年3月までに海外拠点を含む4拠点への展開を計画しています。今後も継続して社会の持続可能性に貢献する安全で品質の良い製品の創出を目指します。



次世代品質データ管理システム システム構成図(概略図)

詳細は「カヤバ技報 第68号」を参照ください。

https://www.kyb.co.jp/technical_report/data/no68j/technology_commentary.pdf

お問合せ先: カヤバ株式会社 広報 IR 室 TEL:03-3435-3552

以上